

## 入札公告

次のとおり一般競争入札に付します。

なお、本入札に係る落札及び契約締結は、当該業務に係る平成30年度本予算が成立し、予算示達がなされることを条件とするものです。

平成30年 3月 7日

支出負担行為担当官  
九州防衛局長 三貝 哲

- 1 入札年月日：（詳細は別紙「委託業務一覧」のとおり）
- 2 入札場所：九州防衛局  
（詳細は別紙「委託業務一覧」のとおり）
- 3 入札に付する事項
  - (1) 業務の名称：築城飛行場（30国）における住宅防音事業に係る事務手続補助等業務その1ほか17件（各名称は別紙「委託業務一覧」のとおり）
  - (2) 履行内容：住宅防音事業に係る事務手続補助等委託業務実施要項の制定について（防地防第1198号。27.1.30。以下「実施要項」という。）及び住宅防音事業委託業務標準仕様書のとおり
  - (3) 履行期間：契約締結の翌日から平成33年3月31日まで  
なお、契約日は、入札日以降当局が指示する日とする。
  - (4) 本業務の入札は、郵送により行う案件である。なお、持参による入札は認めない。
- 4 競争参加資格
  - (1) 単体企業
    - ア 成年被後見人若しくは被保佐人又は外国の法令上これらと同様に取り扱われている者でないこと。
    - イ 破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者又は外国の法令上これと同様に取り扱われている者でないこと。
    - ウ 禁錮以上の刑（これに相当する外国の法令による刑を含む。）に処され、又はこの法律の規定により罰金の刑に処され、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から起算して五年を経過しない者でないこと。
    - エ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員（以下この条において「暴力団員」という。）又は暴力団員でなくなった日から五年を経過しない者でないこと。

- オ 実施要項 8 (6)イ(ア)a の規定により契約を解除され、その解除の日から起算して五年を経過しない者でないこと。
- カ 営業に関し成年者と同一の行為能力を有しない未成年でその法定代理人が前各号又は次号のいずれかに該当する者でないこと。
- キ 法人であって、その役員のうち前各号いずれかに該当する者があるものでないこと。
- ク 暴力団員又は暴力団員でなくなった日から五年を経過しない者がその事業活動を支配する者でないこと。
- ケ その者の親会社等（その者の経営を実質的に支配することが可能となる関係にあるものとして政令で定める者をいう。次号において同じ。）が前各号のいずれかに該当する者でないこと。
- コ その者又はその者の親会社等が他の業務又は活動を行っている場合において、これらの者が当該他の業務又は活動を行うことによって本委託業務の公正な実施又は本委託業務に対する国民の信頼の確保に支障を及ぼすおそれがある者でないこと。
- サ 予算決算及び会計令（昭和 22 年勅令第 165 号。以下「予決令」という。）第 70 条の規定に該当しない者であること。（未成年又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同条中、特別な理由がある場合に該当する。）
- シ 予決令第 71 条の規定に該当しない者であること。
- ス 入札実施年度に有効な競争契約の参加資格（全省庁統一資格）のうち、「役務の提供等」で、九州地域の競争参加資格を有する者であること。
- セ 別紙様式第 1 による一般競争参加資格確認申請書の提出期限の日から開札の時までの間において、防衛省から指名停止又は取引停止等の措置を受けている期間中の者でないこと。
- ソ 警察当局から、暴力団員（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 6 号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）が実質的に経営を支配する業者又はこれに準ずるものとして国が発注する業務等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。

## (2) 共同事業体

- ア 単独で委託業務が担えない場合は、適正に委託業務を遂行できる共同事業体を結成し、入札に参加することができる。その場合は、入札書類提出時までに代表者を定め、それ以外の者は構成員として参加するものとする。

なお、代表者及び構成員は、他の共同事業体に参加し、又は単独で入札に参加することはできないものとする。
- イ 共同事業体で入札に参加する場合には、代表者及び構成員は、(1) に規定する条件を満たすものとする。
- ウ 共同事業体を結成するに当たっては、これを組織しようとする企業等は、次の(ア)から(ウ)までに掲げる事項を規定した共同事業体結成に関する協定書により、協定を締結するものとする。

なお、共同事業体の構成員となる企業は、委託業務の実施に際し、瑕疵があった場合における構成員間の責任分担に関する事項及び業務遂行に伴う損害賠償に関する事項について、あらかじめ合意するとともに、請求手続に関する覚書を取り交わさなければならない。

### (ア) 目的

共同事業体の構成員が、委託業務を共同連帯して営む旨を規定すること。

### (イ) 共同事業体の名称

### (ウ) 主たる事務所の所在地

(エ) 成立及び解散の時期

契約を締結した日から当該契約の終了後3月を経過する日までの間は、解散しないこと。

(オ) 構成員の住所及び名称

(カ) 代表者の名称

(キ) 代表者の権限

代表者は、委託業務の実施に関し、共同事業体を代表すること及び業務委託料の請求、受領及び共同事業体に属する財産を管理する権限を有すること。

(ク) 運営委員会

構成員全員をもって運営委員会を設けること及び当該運営委員会が共同事業体の運営において基本的かつ重要な事項を協議の上、決定し、委託業務の実施に当たること。

(ケ) 構成員の責任

構成員は、委託業務の履行に伴い共同事業体が負担する債務の履行に関し、連帯して責任を負うこと。

(コ) 区分経理

共同事業体は、委託業務に係る収入及び支出について、明確に区分して経理すること。

(サ) 権利義務の譲渡の制限

委託業務に係る権利義務は、他人に譲渡することができないものとする。

(シ) 構成員の加入に関する事項

新たに構成員を加入させようとする場合は、委託者及び構成員全員の承認がなければ、加入させることができないこと。

(ス) 構成員の脱退、破産又は解散に対する処置

構成員のうちいずれかが脱退、破産又は解散した場合においては、他の構成員が共同連帯して委託業務を実施するものとする。

(セ) 代表者の変更

代表者が脱退、破産若しくは解散した場合又は代表者としての責務を果たせなくなった場合においては、委託者の承認を得た上で、従前の代表者に代えて、他の構成員のいずれかを代表者とする。

(ソ) 解散後の瑕疵担保責任

委託業務の実施に関し、瑕疵があったときは、共同事業体が解散した後においても、各構成員は共同連帯してその責に任ずること。

(タ) 協定書に定めのない事項

協定書に定めのない事項については、運営委員会において定めること。

(3) 入札参加者間の公平性

入札に参加しようとする者の間に次のいずれかに該当する関係（これらと同視し得るものを含む。）がないこと。

ア 資本関係

次のいずれかに該当する場合。ただし、子会社（会社法（平成17年法律第86号）第2条第3号の規定による子会社をいう。以下同じ。）若しくは子会社の一方が会社更生法（平成14年法律第154号）第2条第7項に規定する更生会社（以下「更生会社」という。）又は民事再生法（平成11年法律第225号）第2条第4号に規定する再生手続が存続中の会社である場合は除く。

(ア) 親会社と子会社の関係にある場合

(イ) 親会社を同じくする子会社同士の関係にある場合

## イ 人的関係

次のいずれかに該当する場合。ただし、次の(ア)の規定については、会社の一方が更生会社又は民事再生法第2条第4号に規定する再生手続が存続中の会社である場合を除く。

(ア) 一方の会社の役員が、他方の会社の役員を兼ねている場合

(イ) 一方の会社の役員が、他方の会社の管財人を兼ねている場合

## (4) 競争参加資格確認申請書の提出者に関する要件

### ア 個人情報の保護に関する要件

(ア) 個人情報を適正に管理できることを証明できる者であること。

(イ) 地方防衛局及び東海防衛支局（以下「地方防衛局等」という。）が発注した委託業務において、個人情報の漏えい、流出、紛失等が認められた者（個人情報の漏えい、流出、紛失等が認められた他の者の役員が所属する場合を含む。）にあっては、一般財団法人日本情報経済社会推進協会のプライバシーマーク使用許諾又は同協会が認定する審査機関のISMS認証等（以下「プライバシーマーク使用許諾等」という。）を得ていること。

### イ 中立公平性に関する要件

(ア) 防衛省が行う住宅防音事業に係る工事、設計又は監理の請負者（委託業務の受託期間中に当該工事、設計又は監理の請負（下請けを含む。）を予定している者を含む。）でないこと、当該請負者と資本又は人事面において関連がないこと及び過去に資本又は人事面において関連がある者でないこと。

(イ) (ア)に規定する資本又は人事面において関連がある者とは、次のaからcまでに該当する者をいう。

a 一方の会社が他方の会社の発行済株式総数の100分の50を超える株式を保有し、又はその出資の総額の100分の50を超える出資をしている場合

b 一方の会社の役員が、他方の会社の役員を兼ねている場合（代表権を有しているか否かは問わない。）

c 親会社と関連会社（会社計算規則（平成18年法務省令第13号）第2条第3項第18号に規定する関連会社をいう。）の関係にある場合

### ウ 提案書に関する要件

提案書は、委託業務の実施体制を明記し提出すること。

エ アからウまでの規定は、(2)に規定する共同事業体を結成する全ての企業に適用する。

## 5 入札手続等

### (1) 担当部課及び入札説明書等の交付場所

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号  
福岡第二合同庁舎 4階  
九州防衛局 企画部 防音対策課（住宅防音）  
電話092-483-8824

### (2) 交付期間

平成30年 3月 7日（水）から平成30年 4月 5日（木）まで（行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）第1条第1項に規定する行政機関の休日（以下「行政機関の休日」という。）を除く。）の毎日、午前10時から午後5時まで。但し、正午から午後1時までの間を除く。

なお、入札説明書等の交付を郵送にて希望する場合は、「資格審査結果通知書（全省庁統一資格）」の写しと、返信用封筒として表に競争入札参加者の住所・氏名を記載し、4

00円分の切手を貼付した角形2号封筒(240mm×332mm)を同封し、上記5(1)へ郵送(平成30年3月26日必着)すること。

(3) 一般競争参加資格確認申請書及び入札関係書類等(以下「申請書等」という。)の提出期間、提出場所、提出方法及び提出書類

ア 提出期間

平成30年3月7日(水)から平成30年4月5日(木)まで(行政機関の休日を除く)の毎日、午前10時から午後5時まで。但し、正午から午後1時までの間を除く。

(郵送の場合は、平成30年4月5日(木)午後5時必着)

イ 提出場所 5(1)に同じ

ウ 提出方法 郵送(書留郵便に限る。)若しくは託送(書留郵便と同等のものに限る。)又は持参すること。

エ 提出書類

一般競争参加資格確認申請書提出の際、次の(ア)～(キ)に係る書類等の写し及び証明書等を提出すること。

(ア) 入札実施年度に有効な競争契約の参加資格(全省庁統一資格)に係る資格審査結果通知書の写し又は資格申請内容のわかるもの。

(イ) 一般競争参加資格確認申請書(別紙様式第1)

(ウ) 個人情報管理に係る体制証明書(別紙様式第2)ただし、プライバシーマーク使用許諾等を得ている者は、当該許諾証等を証明するものの写しの提出をもって代えることができる。

(エ) 中立性等証明書(別紙様式第3)

(オ) 法人登記簿等の資本又は人事面について確認できる書類

(カ) 提案書(別紙様式第4)

(キ) 返信用封筒(一般競争参加資格確認通知書送付用)。表に申請者の住所・氏名を記載した長3号封筒。なお、簡易書留料金分を加えた所定の料金の切手を貼付すること。

## 6 入札方法

(1) 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の8に相当する額を加算した金額(当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額)をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税にかかる課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の108分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

(2) 落札者の決定方法

ア 入札書に記載されている金額が、予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって入札した者を落札予定者とする。ただし、落札予定者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内の価格をもって入札した者のうち最低の価格の次に低い価格を持って入札した者を落札予定者とするところがある。

イ 予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって入札した者が2者以上いる場合は、当該入札をした者にくじを引かせ落札予定者を決定するものとする。当該入札をした者がくじを引くことができない場合には、入札事務に直接関係がない地方防衛局の職員がこ

れに代わってくじを引くものとする。

ウ アに規定する要件を満たす入札がなかった場合は、改めて直ちに再度の入札を行うものとする。

エ 落札者が決定した場合は、落札者の氏名又は名称、落札金額等を遅滞なく公表するものとする。契約を締結した場合も同様とする。

(3) 入札書の提出期間、提出場所、提出方法及び提出書類

ア 提出期間

平成30年 4月 9日(月)から平成30年 4月13日(金)午後5時必着

イ 提出場所 5(1)に同じ

ウ 提出方法 郵送(書留郵便に限る。)若しくは託送(書留郵便と同等のものに限る。)

エ 提出書類 入札書及び業務内訳明細書。

7 入札保証金及び契約保証金

(1) 入札保証金 免除

(2) 契約保証金 契約金額の100分の10以上(保管金の取扱店 日本銀行 博多東代理店)。ただし、利付国債の提供(保管有価証券の取扱店 日本銀行 博多東代理店)又は金融機関若しくは保証事業会社の保証(取扱官庁 九州防衛局)をもって契約保証金の納付に代えることができる。また、履行保証証券による保証を付し、又は履行保証保険契約の締結を行った場合は、契約保証金を免除する。この場合の保証金額等は契約金額の100分の10以上とする。

8 その他

(1) 手続きにおいて使用する言語及び通貨：日本語及び日本国通貨に限る。

(2) 入札の無効：上記4の参加資格のない者のした入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする。

(3) 契約書の作成の要否：要

(4) 適用する契約条項：・業務委託契約書

・債権譲渡禁止特約の部分的解除のための特約条項

・住宅防音事業に係る業務委託契約における個人情報の保護に関する特約条項

・談合等の不正行為に関する特約条項

・暴力団排除に関する特約条項

(5) 一般競争参加資格を有していない者の参加：

上記4に掲げる一般競争参加資格を有していない者にあっても上記5(3)により申請書等を提出することができるが、競争に参加するためには、開札時において当該資格の格付を受け、且つ競争参加資格の確認を受けていなければならない。

(6) 入札説明書を受け取らない者の入札参加は認めない。

(7) 詳細は、入札説明書及び実施要項等による。

一般競争参加資格確認申請書

平成 年 月 日

支出負担行為担当官

九州防衛局長 三貝 哲 殿

住 所

商号又は名称

代表者氏名

印

平成 30 年 月 日付けで入札公告のありました 住宅防音事業に係る事務手続補助等業務 に係る競争参加資格について確認されたく、  
の書類を添えて申請します。

なお、予算決算及び会計令（昭和 22 年勅令第 165 号）第 70 条及び第 71 条の規定に該当する者でないこと並びに添付書類の内容について事実と相違ないことを誓約します。

注： 返信用封筒として、表に申請者の住所・氏名を記載し、簡易書留料金分を加えた所定の料金（392 円）の切手を貼付した長 3 号封筒を申請書と併せて提出して下さい。

## 個人情報管理に係る体制証明書

飛行場における住宅防音事業に係る事務手続補助等業務の実施に当たり、次の体制で本受託業務を行います。

内 容	○×
本受託業務を本人のみで行います。（使用人その他の従業者を使用しないで業務を行う場合）	

飛行場における住宅防音事業に係る事務手続補助等業務に関し、次のとおり個人情報管理に係る体制をとっていることを証明します。

No	内 容	○×
1	個人情報の管理要領を定めた規定類を整備している。	
2	個人情報の管理者が指名され、個人情報保護についての法人内の責任、役割分担が明確である等、個人情報を適切に取り扱う体制が整備されている。	
3	年1回以上、職員に対し、1の規定類に係る周知徹底の措置（教育や研修）を実施している。	
4	個人情報を管理する部屋等について、物理的アクセス制御（個人情報を管理している部屋の出入口、書庫、金庫、机の引出し、倉庫等の鍵による管理）がされている。	
5	個人情報を管理するコンピュータについて、論理的アクセス制御（クライアントやサーバの暗号化やパスワードによる管理）がされている。	
6	個人情報の授受や破棄等について、確認書類や管理台帳等を作成し記録している。	

注：本人のみで、本受託業務を行う場合は、1から3までの記載を要しない。

## 添付書類

- 1 個人情報の管理要領を定めた規定類（写し）
- 2 個人情報保護に関する管理者等が確認できる資料
- 3 過去一年の間に実施した教育・研修実施記録が確認できる資料

注：本人のみで、本受託業務を行う場合は、1から3までの添付を要しない。

平成 年 月 日

法人名  
(代表者名)  
住 所

印



**添付書類2の個人情報保護に関する管理者等が確認できる資料**

個人情報保護に係る管理者等

1	個人情報保護管理者		
	氏名	所属及び役職	
2	個人情報保護監査責任者		
	氏名	所属及び役職	
3	個人情報の管理要領を定めた規定類に係る社内体制		
	担当者名又は役職名	役 割	担 当 業 務 範 囲

**添付書類3の過去一年の間に実施した教育・研修実施記録が確認できる資料**

個人情報保護に係る教育・研修実施記録

教育・研修の名称																													
開催日																													
使用テキスト																													
講師又は教育・研修担当部署																													
<教育・研修の概要>																													
受講者数 / 受講対象者数	<table border="0"> <tr> <td>役員</td> <td>(</td> <td>名 /</td> <td>名)</td> </tr> <tr> <td>正社員</td> <td>(</td> <td>名 /</td> <td>名)</td> </tr> <tr> <td>派遣社員</td> <td>(</td> <td>名 /</td> <td>名)</td> </tr> <tr> <td>出向社員</td> <td>(</td> <td>名 /</td> <td>名)</td> </tr> <tr> <td>アルバイト等</td> <td>(</td> <td>名 /</td> <td>名)</td> </tr> <tr> <td colspan="4">-----</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>(</td> <td>名 /</td> <td>名)</td> </tr> </table>	役員	(	名 /	名)	正社員	(	名 /	名)	派遣社員	(	名 /	名)	出向社員	(	名 /	名)	アルバイト等	(	名 /	名)	-----				合計	(	名 /	名)
役員	(	名 /	名)																										
正社員	(	名 /	名)																										
派遣社員	(	名 /	名)																										
出向社員	(	名 /	名)																										
アルバイト等	(	名 /	名)																										
-----																													
合計	(	名 /	名)																										

- 注：1 開催日時の順、教育・研修ごとに記入すること。  
 2 受講者数は、社員、正社員、派遣社員、出向社員、パート・アルバイト等に分けて記入すること。  
 3 教育・研修の概要については、教育の目的、内容等について記入すること。

中立性等証明書

飛行場における住宅防音事業に係る事務手続補助等業務に関し、同事業に係る設計業務又は工事の請負者でないこと、本件業務期間中に請負者とならないこと、請負者と資本又は人事面において関連がないこと及び過去に資本又は人事面において関連がある者でないことを証明します。

また、資本又は人事面において関連する者には、同事業に係る設計業務又は工事の請負を行わせないことを証明します。

- ※1 住宅防音事業に係る設計業務又は工事の請負者とは、当該工事、設計又は監理を請負っている者（下請けを含む。）をいう。
- ※2 資本又は人事面において関連がある者とは、次の(1)から(3)までに該当する者をいう。
  - (1) 一方の会社が他方の会社の発行済株式総数の100分の50を超える株式を保有し、又はその出資の総額の100分の50を超える出資をしている場合
  - (2) 一方の会社の役員が、他方の会社の役員を兼ねている場合（代表権を有しているか否かは問わない。）
  - (3) 親会社と関連会社（平成18年法務省令第13号）第2条第3項第18号に規定する関連会社をいう。）の関係にある場合

平成 年 月 日

法人名  
(代表者名) \_\_\_\_\_ 印  
住 所  
\_\_\_\_\_

提 案 書

件 名 :

本業務の実施体制について、次の体制で行うことを提案します。

- 1 主任者：(主任者とする者の氏名、職名及び経験等を記載する。ただし、2名以上の主任者を提案する場合には、それぞれの主任者の有する権限を記載する。)
- 2 作業員：(作業員とする者の氏名、職名及び経験等を記載する。)

平成 年 月 日

支出負担行為担当官  
九州防衛局長 三貝 哲 殿

住 所  
会 社 名  
代表者氏名  
代理人氏名

印  
印

# 別紙 委託業務一覧

入札日：平成30年4月16日（月）

No.	業務の名称	履行場所	入札場所、入札時間	
1	芦屋飛行場（30）における住宅防音事業に係る事務手続補助等業務その1	芦屋飛行場周辺	九州防衛局4階 防音対策課会議室	9:30
2	芦屋飛行場（30）における住宅防音事業に係る事務手続補助等業務その2	芦屋飛行場周辺		10:00
3	目達原及び大村飛行場（30）における住宅防音事業に係る事務手続補助等業務	目達原及び大村飛行場周辺		10:30
4	築城飛行場（30）における住宅防音事業に係る事務手続補助等業務その1	築城飛行場周辺		11:00
5	築城飛行場（30）における住宅防音事業に係る事務手続補助等業務その2	築城飛行場周辺		11:30
6	築城飛行場（30）における住宅防音事業に係る事務手続補助等業務その3	築城飛行場周辺		13:00
7	築城飛行場（30国）における住宅防音事業に係る事務手続補助等業務その1	築城飛行場周辺		13:30
8	築城飛行場（30国）における住宅防音事業に係る事務手続補助等業務その2	築城飛行場周辺		14:00
9	築城飛行場（30国）における住宅防音事業に係る事務手続補助等業務その3	築城飛行場周辺		14:30
10	築城飛行場（30国）における住宅防音事業に係る事務手続補助等業務その4	築城飛行場周辺		15:00
11	築城飛行場（30国）における住宅防音事業に係る事務手続補助等業務その5	築城飛行場周辺		15:30
12	築城飛行場（30国）における住宅防音事業に係る事務手続補助等業務その6	築城飛行場周辺		16:00
13	鹿屋飛行場（30）における住宅防音事業に係る事務手続補助等業務	鹿屋飛行場周辺		16:30

※網掛けは単歳事業

入札日：平成30年4月17日（火）

No.	業務の名称	履行場所	入札場所、入札時間	
14	新田原飛行場（30国）における住宅防音事業に係る事務手続補助等業務その1	新田原飛行場周辺	九州防衛局4階 防音対策課会議室	9:30
15	新田原飛行場（30国）における住宅防音事業に係る事務手続補助等業務その2	新田原飛行場周辺		10:00
16	新田原飛行場（30国）における住宅防音事業に係る事務手続補助等業務その3	新田原飛行場周辺		10:30
17	新田原飛行場（30国）における住宅防音事業に係る事務手続補助等業務その4	新田原飛行場周辺		11:00
18	新田原飛行場（30国）における住宅防音事業に係る事務手続補助等業務その5	新田原飛行場周辺		11:30
19	新田原飛行場（30国）における住宅防音事業に係る事務手続補助等業務その6	新田原飛行場周辺		13:00
20	新田原飛行場（30国）における住宅防音事業に係る事務手続補助等業務その7	新田原飛行場周辺		13:30
21	新田原飛行場（30国）における住宅防音事業に係る事務手続補助等業務その8	新田原飛行場周辺		14:00
22	新田原飛行場（30国）における住宅防音事業に係る事務手続補助等業務その9	新田原飛行場周辺		14:30
23	新田原飛行場（30国）における住宅防音事業に係る事務手続補助等業務その10	新田原飛行場周辺		15:00
24	新田原飛行場（30国）における住宅防音事業に係る事務手続補助等業務その11	新田原飛行場周辺		15:30
25	新田原飛行場（30国）における住宅防音事業に係る事務手続補助等業務その12	新田原飛行場周辺		16:00
26	新田原飛行場（30）における住宅防音事業に係る事務手続補助等業務その1	新田原飛行場周辺		16:30

※網掛けは単歳事業